

今回の改良点 (H20.4)

- 1) 処分費等の自動計算を追加 (土木・港湾・農林のみ対応)
- 2) 文字データベースの追加
- 3) データのバックアップの追加
- 4) 単価確定ボタンの追加
- 5) 内訳表の階層を表示
- 6) 再計算のボタンの追加
- 7) 印刷詳細等の設定画面の変更

1. 処分費等の自動計算を追加 (土木・港湾・農林のみ対応)

単価の入力画面で、処分費等の設定を追加しました。処分費にチェックを入れることにより、そのデータを処分費として、工事費に含まれる処分費の合計を自動的に算出します。

内訳表には、下記のように金額が表示されます。

機能(D) \M\F(H) 市場単価解説 終了(S)					
	37,497,600			臨時単価作成	歩掛計算新規明細
	0				処分費
	0				3,344,500
枝表示	間接工事費積算(K)				
単 価	金 額	水	処分費	二次製品単価	
0	2,568	1,797,600	1,144,500		
0	35,700,000	35,700,000	2,700,000		

明細表には、下記のように金額が表示されます。

品	金額	積上	備考	処分費	二次製品単価	二次
056	93,304					
1,500	183,500			183,500		

間接工事費の画面では、下記のように金額が表示されます。

直接工事費 37,497,600

工種区分 17 下水道工事(2)

前払い 1 35%を超える 契約保 3 上記以外

イメージアップ 0 なし イメージアップ補正 0.0%

補正区分 1 市街地

共通仮設費補 2.0% 現場管理费率調 0.00%

現場管理費補 1.5% 一般管理费率調 0.00%

税抜計: 1,000円未満切捨 現頂までの高

消費税率 合算工事No  
5%

直工に含まれる処分費 3,844,500 処分費を運動するには下表No7直工に  
準備費に含まれる処分 0 含まれる処分費、No8準備費に含まれる  
分費のコードに-1を入力してください

No	摘要	明	コード	金額
1	積上 0		4	1,000,000
2	事業損失防止施設費			
3	積上 1			
4	積上 2			
5	積上 3			
6	準備費			
7	直接工事費に含まれる処分費等		-1	3,844,500
8	準備費に含まれる処分費等			

このとき、第7行(直接工事費に含まれる処分費等)のコード欄に -1 を入れることにより、経費計算に処分費が考慮されます。

今まで通り、明細または単価のコードを入れることもできます。

準備費に含まれる処分費がある場合は、第6行(準備費)のコード欄に、積上げ分の準備費の明細コードを入力、または、作成し、第8行(準備費に含まれる処分費等)のコード欄に -1 を設定します。

参 考)

「処分費等」とは、下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、間接工事費等の積算は、表のとおりとする。

- 1) 処分費（再資源化施設の受入費を含む）
- 2) 上下水道料金
- 3) 有料道路利用料

区分	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%以下でかつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%を超える場合または処分費等が3千万円を超える場合
共通仮設費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。
現場管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。
一般管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。

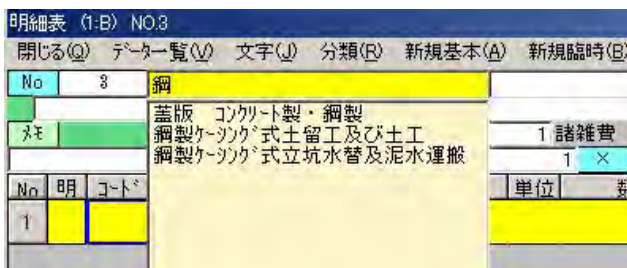
## 2. 文字データベースの追加

内訳表での小計、及び各明細、単価での種別の入力文字を自動登録・蓄積し、文字入力の際に利用できます。小計と種別とそれぞれ別々のデータベースとなります。(種別1と種別2は同じデータベースです。)

データベースは実際に入力される文字とその読みとで構成されます。呼び出し方法は、たとえば、下記のように文字の読みまたは、文字の一部を入力すると該当文字の一覧がリスト表示されます。希望する文字をクリックすると入力されます。

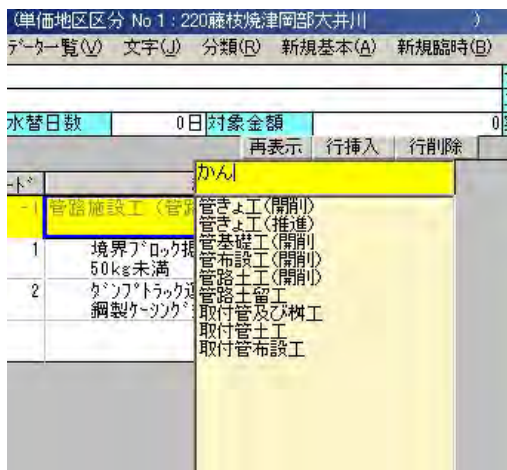
\*\* ですべて表示されます。

※文字の一部で検索された場合)



※読みの一部で検索された場合)

ただし、読みが登録されていないと検索されません。



また、入力した文字は、データベースに自動的に追加登録され、データベースに累積されます。

(ただし、Enterキーを押したときのみ登録されます。Tabキーやマウスで他の項目に移動したときは登録されません。)

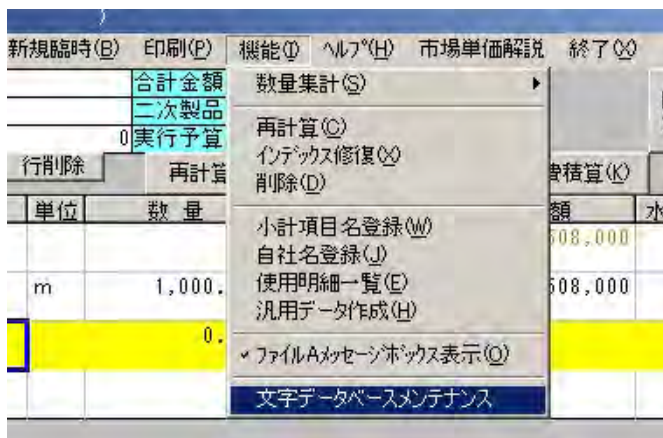
読みは登録されません。メンテナンス画面で読みの登録及び自動登録の有無の設定ができます。

## データベースのメンテナンス

データベースの文字の修正、追加、削除ができます。

メニューの機能の、「文字データベースメンテナンス」をクリックします。

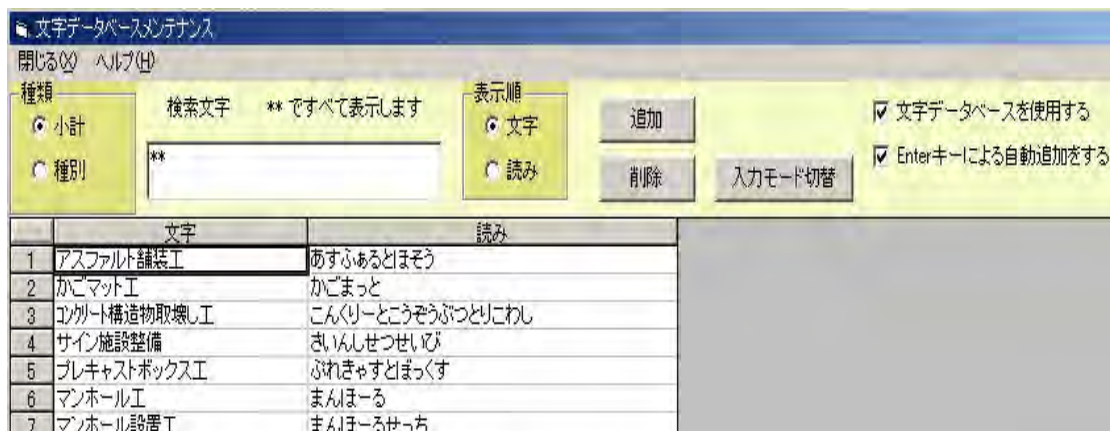
このメニューは、内訳表、および明細表にあります。



小計か種別かを選択します。

同様に文字検索します。

\*\* ですべて表示されます。



直接表の中の文字を修正します。

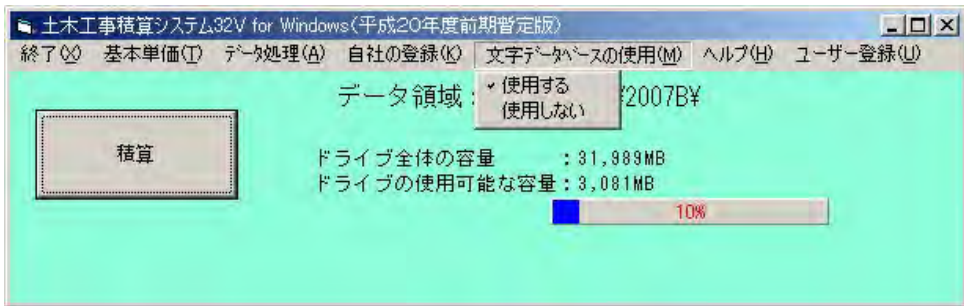
入力モード切替ボタンで、常時入力状態(複数行選択ができません。)と 行選択状態と切り替えになります。行選択状態でも、行をダブルクリックすると一時入力ができます。

追加の場合には、追加ボタンをクリックすると表の最後に入力行が出てきますのでその行に入力してください。

削除の場合には、削除したい行を選択して、削除ボタンをクリックします。(複数行選択もできます。)

## 文字データベースの使用の選択

この文字データベースを使用しない場合は、起動メニューでチェックして選択します。



メンテナンス画面でも設定できます

## 文字データベースの格納場所

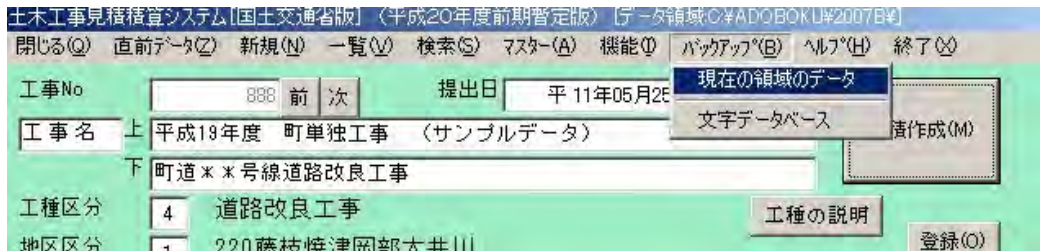
文字データベースをインストールすると、そのファイルは フォルダ C:\%ADATA に DicDb.mdb として格納されます。



### 3.データのバックアップの追加

工事登録のメニューにデータバックアップ(B)を追加しました。

現在の領域(年度別)のデータ(基本単価及び積算データ)を別のドライブ等にコピーします。



バックアップ先を指定して バックアップ開始ボタンをクリックします。

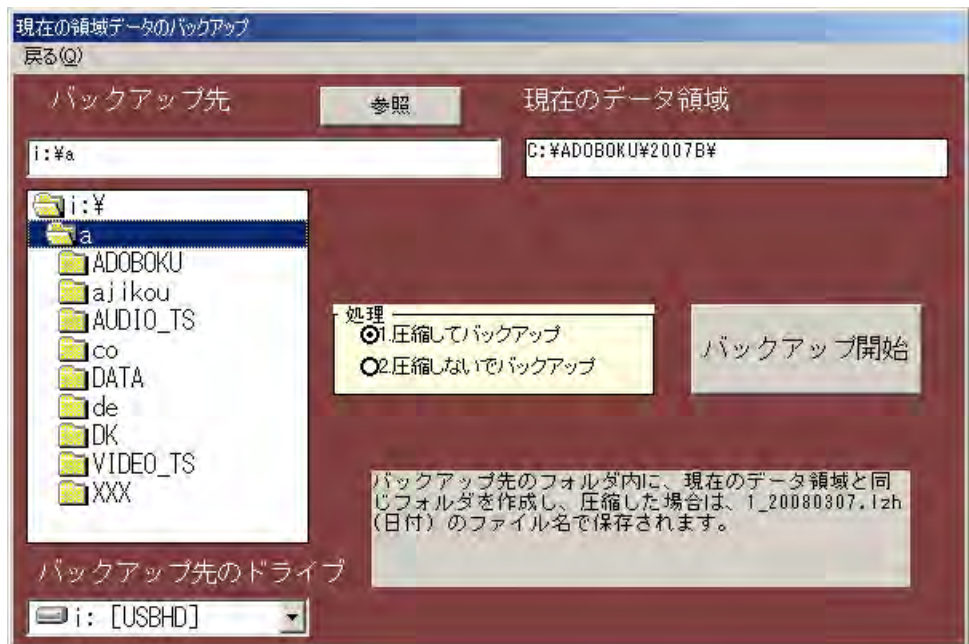
処理方法として、lhaデータに圧縮する方法と圧縮しない方法と選択できます。

圧縮を指定した場合は 日付をファイル名として保存されます。

どちらも、現在のデータ領域と同じ名前のフォルダ内に保存されます。

例:土木の場合 指定したフォルダ¥ADOBOKU¥2008A のフォルダ内に保存

また、新しいフォルダを作るには、バックアップ先入カラインに作成するフォルダ名を入力してEnterキーを押します。



#### 4. 単価確定ボタンの追加

最新データをインストールした場合、基本単価が変更されていたため、既に積算されている金額が変わってしまわないようにするために、単価の確定ボタンを追加しました。

ボタンは、工事登録の画面の右下にあります。

この処理を実行すると、使用した基本単価・明細をすべて臨時(B)に同じコードで複写します。

同じコードが存在した場合は臨時(B)が優先されますので、基本単価が変更されても影響されません。当然、地区単価も関係なくなります。

確定したあとで、基本単価を使用して積算処理を続けた場合、再度単価確定をして、さらに、内訳表で再計算を実行してください。

工事期間	平 13年06月29日 (金)	平 13年08月
工事場所		
支払条件		
有効期限		
その他		
直接工事費	14,816,350	消費税 1,215,900
工事費 計	24,318,000	

もし、確定したデータを元に戻して、基本単価を反映させたい場合は、工事登録画面メニューの機能の中に単価確定解除がありますので、そちらを実行してください。

基本単価・明細と同じコード番号がある臨時単価・明細(B)を削除します。

その場合、金額が変わる可能性がありますので、内訳表で、再計算を実行してください。

工事No	999	提出日	平 11
工事名	平成19年度 町単独工事 (サンプルデータ)		
	町道 * * 号線道路改良工事		
工種区分	4	道路改良工事	
地区区分	1	220 藤枝焼津岡部大井川	





または、内訳表メニューのデータ一覧の訂正で、最右行の明細印刷の列の該当明細行をクリックしてマークをつけてください。

品目	単位	数量	単価	金額	年月	印刷
1	掘削				2008/3	
2	掘削工	H=1.4m		2008/3		
3	掘削工	H=1.6m		2008/3		
4	水掘工			2008/3		
5	砂留工			2008/3		
6	路盤工 兼道	115cm 1層	再生下層路盤材	100/1110*0.50	2008/3	
7	舗装工(機材)	兼道/路肩 114cm	1.45m <sup>2</sup> ×1.0 アクリロク		2008/3	
8	タンクトラック運搬		だん 3t		2008/3	
9	ヒューム管 (B型管) 埋付工	φ150			2008/3	
2000	ガククサ地山の掘削積込	14質・砂質	山積0.80m <sup>3</sup> 排付型 陸置なし		2008/3	
2001	ガククサ床掘	14質・砂質	山積0.80m <sup>3</sup> 排付型 陸置あり		2008/3	
2002	ガククサ外-1状態の積込	14質・砂質	山積0.80m <sup>3</sup> 排付型		2008/3	
2003	タンクトラック運搬費10t DID無 良好	BH山積 0.8 m <sup>3</sup> L=0.5km	土 砂		2008/3	
1042	マガジムローラ運転費	10~12t	路盤工 排付型	PA1422 10400	2008/3	
1043	タイヤローラ運転費	8~20t	路盤工 排付型	PA1460 10461	2008/3	
12000	コンクリート【人力打設】		兼道 10-2-25-00	R192D	2008/3	

## 5. 内訳表の階層を表示

内訳表画面で、階層表示のボタンをクリックすると、全明細の階層を表示します。

合計金額	14,818,350
二次製品	2,948,948
実行予算	0

数量	単価	品名
400,000	177	2000:ガククサ地山の掘削積込 14質・砂質山積0.80m <sup>3</sup> 排付
1,300,000	304	19903:ガククサ運転費 排付型山積0.80m <sup>3</sup>
470,000	961	2001:ガククサ床掘 14質・砂質山積0.80m <sup>3</sup> 排付
240,000	172	1:埋戻し
930,000	608	2002:ガククサ外-1状態の積込 14質・砂質山積0.80m <sup>3</sup> 排付
64,400	34,020	2003:タンクトラック運搬費10t DID無 良好BH山積 0.8 m <sup>3</sup>

表示を消すには、もう一度 階層表示のボタンをクリックしてください。

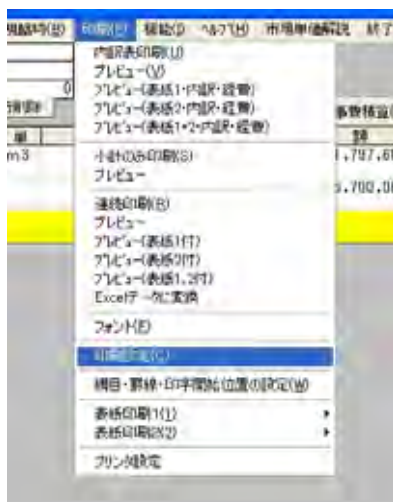
また、表示中は明細等を変更しても、自動的に変わりません。再度枝表示のボタンをクリックして、表示しなおしてください。

## 6. 再計算のボタンの追加

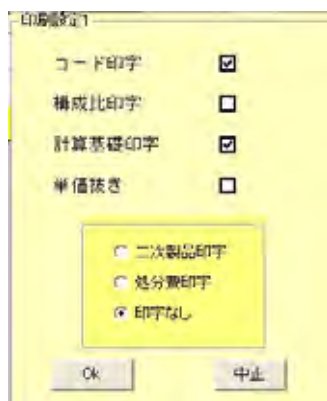
今まで、機能のメニューにあった再計算をボタンしました。(上図参照:枝表示ボタンの隣)

## 7.印刷詳細等の設定画面の変更

今まで、印刷等の設定は、内訳表のメニューでチェックすることにより、行なっていましたが、一つの画面にまとめてみました。



印刷メニューの印刷設定をクリックします。



各項目にチェックを入れることにより設定します。

2次製品と処分費の金額については、どちらかの選択になります。

## 8. 最近の追加された歩掛り計算

7-35 組立マンホール工(下水)

7-36 マンホール工(塩ビ製)(下水)

7-37 コンクリート表面処理工(ウォータージエット工)

4-7 軽量鋼矢板賃料

4-8 ウィル イト損料

3-7 現場発生品及び支給品運搬

3-8 建設機械運搬費